

## 第5回美里町農業審議会会議録（概要）

日時	令和元年10月30日（水）午後1時30分～2時30分
会場	美里町役場 2階201会議室
出席者	<農業振興審議会委員> 櫻沢 保、根本孝代、小泉雄一、飯島 一、上田勝美、渋井 清、 田沼 晃、根岸利成、関根尚子、徳世保孝、野沢 進、長谷川隆史 （委員15名中、12名出席） <美里町> 町長 原田信次 農林商工課 課長 木村利雄、副課長 丸山 保、主査 櫻沢文孝 総合政策課 参事兼課長 阿部泰久、副課長 萩原和幸、主任 飯島美和 <業者> ランドブレイン株式会社 田中元清、和田駿哉、野沢 理
配布資料	・第5回美里町農業振興審議会次第 ・農業振興審議会における意見の集約（まとめ）（資料1） ・事業者ヒアリング結果（概要）（資料2） ・審議会委員・事業者ヒアリングのまとめ（資料3） ・令和元年度事業スケジュール（予定）（資料4） ・まちづくり拠点地区の土地所有者意向調査の実施について（資料5）
議事	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）農業振興審議会における意見の集約について （2）事業者ヒアリングの結果について （3）今後のスケジュールについて （4）土地所有者意識調査の実施について （5）その他 4 閉会
<b>会議趣旨</b>	
<b>1. 開会</b>	
司会 丸山副課長	ただいまから第5回美里町農業振興審議会を開会いたします。 開会にあたり、根本会長よりご挨拶をお願いいたします。
<b>2. あいさつ</b>	
根本会長	本日はお集まり頂き誠にありがとうございます。過日の台風では美里町でも被害があった。皆さんも大変だったかと思います。災害を受けられた方にはお見舞い申し上げたい。また、本日は議会代表の大島議長が他の会議と重なり欠席となりますが、慎重審議いただきたいと思ひます。よろしくお願ひ

	<p>します。</p>
丸山副課長	<p>ありがとうございました。 つづきまして、原田町長より挨拶を申し上げます。</p>
原田町長	<p>今日のNHKニュースで豚コレラが取り上げられていました。我が町に被害が出ないように、早くワクチン対応ができることを願っています。</p> <p>また、先日の台風では、我町では白石の観測地で24時間に444ミリの大変な雨量がありました。時間雨量の最大が43ミリでした。50ミリ～70ミリの雨量が続くと今の河川では難しいと改めて感じています。川の土手のあらゆるところで被害が起き、農作物や稲が倒れていますが、できる限りのことをしていきたいと思っています。</p> <p>第4回の審議会は欠席しましたが、私の考えていることをお伝えしたく本日会議に出席しました。</p> <p>美里町の子どもの出生数を推計すると、2040年に小学生が1学年で50人台になります。高齢者の推計は、65歳人口以上は今と同数程度だが、中身が問題で75歳以上、特に85歳以上の人口が2040年にピークになります。一方、15歳から64歳の人口は、2040年から2050年には約6割になると予測がされています。これから超少子高齢化社会を迎える時代になります。これは美里町だけでなく日本全体もそうなると言われていきます。このことを想定した中で、今後、町はどうなっていくのか考えなければなりません。農地は、ほ場整備された地域でも耕作放棄地がかなり出てきて、空き家もかなり増えます。そして、小学校は1学年2クラスになり、働く世代15～64歳は約6割に減る。当然、個人住民税も含めて日本全体が縮小することが想定されます。医療、介護給付が増え、さらに高度成長期に作られたインフラの更新がこれから20年の間に増大し、その公共施設の維持が大変な状況にあります。</p> <p>その中で地域活性化施設について、皆さんに議論していただいているところです。皆さんの意見としては町内外の人に利用され、町内で「ひと・もの・お金」が回ることが大きな目的になると思います。私としてもこうした動きによって、結果的に農地や里山が荒廃しないように維持でき、さらに、人・地域に活気がある町になればと思っています。</p> <p>しかし、委員の皆さんが目標とするものが本当に実現できるのか、それにお金をかける効果があるのかを心配されるのは、当然のことです。とはいえ、今の状況が見込まれるなら、何か手を打たなければならないということは共通認識としてあると思います。スマートICができ、産業団地ができました。そうした中、役場、駅から300mの範囲にある場所が開発可能な地域として見込まれている状況です。このチャンスをどう活かしていくか考えなければなりません。</p>

今回、施設の機能、管理運営手法ということが事前の議題として挙げられていたが、あえて外しました。なぜなら、私が審議会を始めるまで想定していた施設づくりとは違い、情報収集したら、日本全体では、我々が考えている以上に上手くいっている事例が増えていることが分かりました。近隣で県を超えますが、皆様にも上手くいっているところ、地域のものが回っているところを見ていただかないと現在の動きが分からないのではと思っています。ぜひ、次回以降、視察をしていただければありがたい。せっかくこのエリアが活用できるのであれば、今、考えている地域活性化施設とは違う用途の誘致も可能になり、例えば、工場もさることながら、沿道サービスであれば、産業サービスも可能となります。まずは、地権者の意向を確認し、可能なら地権者協議会を設立し、企業から話があった際、すぐにマッチングの話し合いができる組織があれば、相乗効果を出せる施設の誘致も不可能ではありません。現状、地域活性施設の場所や規模については、地権者にあたっていないので分かりません。今回の審議のテーマとしては、まずは地権者の意向調査をさせていただき、入り口の段階として所有地のこれからの活用はどうしたいのか、地権者協議会を作って共同して動いていけるかを調査させていただけると、将来的に企業の誘致を含めて何らかの案が出せると考えています。

それから、住民から「幼児の遊び場がない」、「はにぽんプラザのような中学生を含めた人たちの勉強ができるスペースもあるといい」ということをいただいています。いろいろな相乗効果が出る施設と連動して作っていくのもいいと思っています。今回、審議会に地権者調査の考え方について提示とご理解をいただき、できるだけ早く調査し、その間に皆様に視察をしていただき、利用可能な土地を把握し、それに対して、我々も具体的な誘致等のご提案ができると考えています。

駅と役場を結ぶエリアが、地域活性化施設も含めて、これからの美里町の「ひと・もの・お金」が流通するひとつの拠点のようになればいい。建物だけでなく、農地や農産物を生かすためのソフトのメニューも並行して議論しながら、皆様からご提案をいただければありがたいと思います。

本日の会議が皆様のご協力により実りあるものとなりますようよろしくお願いいたします。

### 3. 議事（条例第6条第1項により会長が議長を担う）

司会  
丸山副課長

では、3 議事に入ります。審議会設置条例第6条第1項に基づき、「会議は、会長が招集し、その議長となる。」とありますので、今後の議事進行については、根本会長にお願いします。

根本会長

それでは、しばらくの間ご協力をお願いします。  
慎重審議よろしくお願いします。

**(1) 農業振興審議会における意見の集約について**

**(2) 事業者ヒアリングの結果について**

<p>議長 (根本会長)</p>	<p>議題(1)に入ります。なお、議題(1)と(2)は関連する内容となりますので、続けて説明いたします。 では、事務局説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (飯島主任)</p>	<p>はい。総合政策課の飯島です。本日はよろしくお願いします。 では、(1)(2)について説明申し上げます。着座にて失礼いたします。 説明は、資料1～3を使用します。 まず、資料1をご覧ください。こちらは、皆さんからご提案いただきました意見をまとめたものになります。ポイント・キーワードになる部分に下線を引いています。 では、まず導入機能に関わる意見です。お客さんが来るにはまず飲食施設が必要で、伝統食のレストランはどうか。また、食べるだけではなく、加工を体験できる場所、そして、加工所があったら農家にとって良いだろう。バーベキューなどができる広場。また、幅広い世代が学べる学習機能も備えると面白い。そのほか、防災機能や大きな駐車場、清潔なトイレ、そして、野菜の直売機能の意見がでました。 続いて、活性化施設との連携に関わる意見です。 一つ目が、町の資源を活用した商品販売・加工品販売の可能性があること。特産品だけではなく、他では手に入らないダチョウ肉などの活用があげられました。また、里山を維持するためのアイデアや町の遺跡を活かすためのアイデアも挙がりました。また、農地付の宿泊施設や地方生活を体験できる場所を提供し、移住定住促進や関係人口増加に繋げたり、市民農園やフリーマーケット、野外コンサート・映画などのアイデアがあがりました。 その他、施設整備に関する意見は、町内外の皆さんが気軽に立ち寄り、愛される施設であること。業者に丸投げすることなく整備を考えて欲しい。埼玉県産木材の活用についてのご意見をいただきました。 これまで委員の皆さんから出していただいた多くの意見をこのようにまとめました。 つづいて、事業者ヒアリングの結果をご報告します。資料2をご覧ください。こちらの資料は、活性化施設と協力・連携の可能性のある事業者に行ったヒアリング結果をまとめたものです。 まず、町内事業者として、ブルーベリー観光農園と古代豚の白石農場、有限会社みのりの茂木さんの内容です。皆さんからは、「農」「食」を売りにしていくべきとの意見が多かったです。ただし、近隣(深谷市のアウトレットモール等)と競合するテーマは避ける必要があると意見をいただきました。</p>

ブルーベリー観光農園からは、全体の1年間の来訪客は3,000~4,000人程度で、摘取り客と施設来訪客の相互利用の仕組みづくりができれば、相乗効果が期待できること。ブルーベリーの提供について協力は可能だが、量が必要な場合は、味・規格にばらつきが出る恐れがあるという懸念事項がありました。生のブルーベリーを提供できる期間は3か月程度で、年間を通して販売できる加工品が必要である。市民農園を行うのであれば、有限会社みりによる営農指導の協力が可能であること。古代豚やダチョウ等の畜産物、機能的農産物等、町内事業者による商品・食材提供の協力の可能性が見出されました。また、白石農場からは、調理室があれば、ソーセージ等の加工教室の開催の協力の可能性もあることも分かりました。

つづいて、埼玉ひびきの農業協同組合（JA）の結果です。

JAからは、可能な限り協力したい。町が施設を作ってくれるのであれば、直売所の運営はJAが行うことも考えられる。

また、農地を活用した収穫体験を行っているので、その連携の可能性が見出されました。加工事業についてはあまり行っていないというご意見をいただきました。

つづいて、商工会です。商工会からは、物販施設や加工品の販売・管理・運営のほか、イベントの開催を担うことが可能であること。住民に喜んでもらえる施設として、人が集まる中で商売をしたいと考えているとのご意見をいただきました。

つづいて、キヤノン電子株式会社です。

キヤノン電子は、美里産業団地に新たな工場を建設します。新工場には、ロケットや人工衛星のパーツづくりをし、「宇宙」をテーマとした工場見学を実施する予定で、観光農園の摘取り客と同様、工場見学と活性化施設の来訪客の相互利用の仕組みづくりができれば、相乗効果が期待できます。寄居PAから見る事ができるロケットのオブジェの設置や人工衛星のモニュメント、展示ショールーム等も計画しているとアイデアをいただきました。活性化施設との連携の1つのアイデアとして、活性化施設の中に宇宙関連のモニュメントを置くことも可能性ではないかとご意見いただきました。

最後に、株式会社タニタヘルスリンクです。

タニタさんからは、茨城県筑西市の道の駅の事例の紹介をいただきました。筑西市の道の駅では、健康ステーションを設け、日常生活で貯めた健康ポイントと市の特産品を交換する取り組みを行っています。美里町でも健幸ポイントと町の特産品を交換する仕組みができれば、町民の誘客を図れる可能性があるとお提案をいただきました。施設の運営については、運営という形での参画は難しいが、メニュー監修などの協力や「タニタシェフ育成制度」というタニタ食堂の定食の調理法を習得できるプログラムが用意されているため、これを活用して人材育成、配置を行うことができること。その他、

	<p>簡単な調理室のようなものが施設内にあれば、有料にはなるが、料理セミナーを開催することもできるとソフト面の連携の可能性が見出されました。</p> <p>これら委員の皆さんのご意見とヒアリング結果をもとに、地域活性化施設のあるべき姿・果たす役割を資料3にまとめました。1つ目が美里町には多くの食材・資源があり、これらを活かす仕組みが必要であること。2つ目が地域活性化施設を核に、観光施設や町内外の事業者との連携の可能性があること。3つ目が今や道の駅は各自治体で立地しており、存続するためには他との差別化を図る「売り」が必要であること。4つ目が地域活性化施設は「美里の美しい自然を守り、地域生産者の生活を支える地域活性化(まちづくり)の中心的存在」を担う必要がある。そして、最後が地域に愛される施設であることです。</p> <p>私たちは「心身ともに美しく暮らせるまちづくり」という基本理念のもと、様々な事業に取り組んでいます。この地域活性化施設整備事業もその一つです。これから、少子高齢化や人口減少、まちづくりの担い手不足、財政状況等、町を取り巻く状況は今後さらに厳しい局面を迎えます。美里町が単独自治体として生き残るには、「持続可能な地域であること」そして、「地域の中でひと・もの・お金(経済)が循環する仕組み」が必要であり、地域活性化施設にはその中心的役割を果たすことが求められるとまとめさせていただきました。説明は以上です。</p>
議長 (根本会長)	ただ今の説明に対して、皆さんのご意見をお聞きします。
根岸委員	最初の段階では、直売所はJAで新しいものを作って、万葉の里がなくなるという話だったと思うが、これを見ると必ずしもJAが直売所を運営するというのではない印象を受けるが、どういうことでしょうか。
事務局 (飯島主任)	施設に様々な機能があるが、直売所だけならJAが協力することは、可能であるということで、必ずしもできるというご回答をいただいております。何かあれば協力するというスタンスです。
根岸委員	今回の道の駅にJAが関わらない可能性はあり得るのでしょうか。
事務局 (飯島主任)	その可能性はあり得ます。活性化施設の直売所と万葉の里直売所と併存の可能性はあるかもしれませんが。併存する場合は相乗効果の中で、お互いの施設がうまく連携はしていく必要があると考えています。
根岸委員	先日、会議所の定例会がありました。今の直売所は立地が良く、直売所を役場付近に移すということは皆、不安を感じています。併存の可能性があれば、万葉の里はJAとして残してもらって、この施設は別のものにしてもらった方がうれしいという意見があります。

原田町長	<p>まだ何も決まってははいない状況です。ただ、JAは今の施設がある程度の年数が経っているので、ある程度、議論が具体的に煮詰まってきた段階でどうするのか、ということが決まると思っています。私としてはいろいろなどころを見て、必要不要を判断していただくのも1つの手ではないかと思えます。決めつけずに考えていただけるとありがたい。</p>
議長 (根本会長)	<p>他にご意見はありますか。意見がないようでしたら続いて議題(3)(4)へ移ります。</p>
<p><b>(3) 今後のスケジュールについて</b> <b>(4) 土地所有者以降調査の実施について</b></p>	
議長 (根本会長)	<p>続いて(3)今後のスケジュールと関連する(4)土地所有者調査の実施について、事務局から説明願います。</p>
事務局 (飯島主任)	<p>資料4をご覧ください。 今年度の事業スケジュールを説明します。 まず、10月30日(本日)、第5回農業振興審議会の開催。つづいて、11月～12月に土地所有者意向調査を実施します。意向調査の詳細は、のちほど説明します。12月以降、地域活性化施設の視察、先ほどの意向調査結果の取りまとめを行い、地権者協議会の設立。そして、本委員会(美里町農業振興審議会)の開催を予定します。 先ほど、11月から12月に予定している土地所有者の意向調査について説明します。資料5をご覧ください。 この調査は、現在皆さんにご検討いただいている地域活性化施設の整備に加え、地域振興に資する施設の民間開発の誘導可能性エリアを把握するため、土地所有者に将来の土地利用に関する意向調査を実施するものです。調査対象地域は、資料の右ページに示すエリアです。第5次美里町総合振興計画の土地利用の方針に掲げる「まちづくり拠点地区(中心拠点)」内にあり、役場・松久駅からそれぞれおおよそ300mの距離にある、ある程度まとまった面積が確保できる場所となります。対象者は104人、対象地域の面積は約22.8ヘクタールです。この調査で質問する内容ですが、現時点では、まず所有する土地の将来の利用方法についてです。営農を続けたい。売却したい。貸したい。条件付きで売却したいなどです。2つ目がこの意向調査の結果を進出意向を示す事業者へ情報提供して良いかということ。3つ目が地域活性化施設の整備にあたり、地権者協議会を設立することへの可否についてです。 この調査の結果を受け、地域活性化施設の候補地を選定し、資料4のスケジュールにあります、地権者協議会(地元説明会)の開催を予定しています。説明は以上です。</p>

議長 (根本会長)	ただ今の説明に対して、ご質問などがありますか。
渋井委員	今年度のスケジュールはお聞きしたが、将来に向けたスケジュールが見えていない。何年にどこまでできるのか。そこが見えてこない。具体的な年度別スケジュールをもう少し具体的にお示しいただきたいがいかがでしょうか。
原田町長	ごもつともです。今の地域活性化施設について皆さんの様々なご意見があり、我々も案を持っているが、説明を丁寧にしていく必要があると考えています。そのため、あえて、視察を組み込んで成功事例や事業者の考え方をお聞きいただいた上で、組織の利益より、住んでいる方の利益を最優先するためにはどんな方法がいいのか、丁寧に考えていく必要があります。地権者の意向で可能な場所と施設の方向性が見えた段階でスケジュールを示したいと思います。
渋井委員	初めから地権者が反対してできないということがないように、丁寧に説明しながら進めていただきたいと思います。場所は早く決めた方が良いでしょう。どんなものができるか現段階で見えていない。
原田町長	資料5で色を塗ったエリアは可能な限り企業を誘致し、有効活用したいと考えています。
櫻沢委員	土地所有者意向調査の考え方について、質問内容に考慮していただきたいと思います。対象地域は農地転用を促進する地域だという考え方をにじませた方がいいと思います。また、視察については、行政対応を含め、どのような課題があるか。情勢内容、活動状況をある程度踏み込んで、行政の方で事前に情報収集していただいて、ある程度組み込んでほしいと思います。
事務局 (木村課長)	農地転用については、去年の第2回審議会で、ここは3種農地というお話をしました。実際に農地を所有している方は農地区分の違いによる開発の可能性を分かってはいないと思うので、説明したいと思います。視察については、ただ見るだけでなく、行政や運営者側にお話を伺うようにしたいと考えています。
飯島委員	ぜひ早く進めてほしい。 町長のお話では、赤い範囲は、可能な限り、道の駅以外で開発を進めていきたいということだと思います。2haの土地というお話があったと思うが、この地図で簡単に1haというのは、役場の南の水路と道路の概ねの規模ということでしょうか。
事務局 (萩原副課長)	この場所で、1haより大きい面積です。
野沢委員	地域活性化施設の視察ということだが、食と販売のウエイトがどうしても大きくなると思う。地域活性化施設の視察する時も重要なポイントになると



	<p>思います。どこか適当な場所はあるのでしょうか。</p>
<p>事務局 (飯島主任)</p>	<p>今、考えている所が2つあります。千葉県木更津市のうまぐたの里という道の駅と茨城県古河市のまくらがの里という道の駅だが、先方には、まだあたっていない状況です。</p>
<p>野沢委員</p>	<p>規模的なものを考慮してのことでしょうか。</p>
<p>事務局 (飯島主任)</p>	<p>木更津の道の駅は町の想定している規模と同じくらいで、あまり規模は大きくはないが、活性化しています。セミナーなどに参加し、名前があがる場所で視察の件数が多いところなどを基準にしています。</p>
<p>野沢委員</p>	<p>4年～5年前になるが、千葉県の芝山の道の駅に商工会で視察に行ったことがあります。そこは飛行機が見え、地域の旬の野菜を集めたレストランを経営しており、その脇に直売所があります。食べる、買うしかできないが、成功事例であると思うので、そのあたりも検討してはいかがか。</p> <p>また、町長にお願いがあります。施設を作るのであればスマートICと県道がぶつかるエリアかなと我々は思っているが、いかがでしょうか。</p>
<p>原田町長</p>	<p>できるだけ県道に接していることが必要と考えています。県にも支援いただきたいという思いもあるので。アクセス道を国道254号へ続く道については県には要望しており、県議会議長から作るように努力はするというお話をさせていただいています。</p>
<p>野沢委員</p>	<p>我々はまだ一步踏み出せていない。視察は非常に重要なことであると思います。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>農業委員として、地主に農地の現況調査で何うと、手のつかない農地が増えつつあるとのこと。一部の地主さんにお話を聞くと、いつまで維持できるか心配しています。</p>
<p>原田町長</p>	<p>町としては、物を売ったり加工したりするだけでなく、体験にシフトしてきています。いかに外の人に来ていただき、携わってもらえるかソフトの仕組みを組み込めるかが課題と認識しています。まだ、まとまっていないが、大手を含め事業者ヒアリングを行っています。例えば、週末農業の話や宿泊の話、そうすると農地や人が必要になってきて、それに伴うものも必要になってきます。これらのものを上手くくっ付けて相乗効果が出るものができるのではないかと考えています。</p>
<p>飯島委員</p>	<p>私も仲間とブルーベリー畑をやっています。東京から人を呼ぶとIC付近が便利で、楽しみでもあります。ただ、一番困るのが30～40名で来ると、トイレや駐車場が問題になります。活性化施設は町の顔・中心になるものにしてもらい、そこから北に南に行けるような入口という発想で整備してほしいと思います。</p>

根岸委員	先日の農業会議所の意見です。健康というフレーズが良いのでは、という意見が出ました。タニタさんとの連携や食など。また、スポーツジムのある施設も面白いのではという意見が出ました。視察の場所として道の駅しもつけにトレーニングジムが入った施設があるとのことです。
事務局 (木村課長)	様々な意見をいただき、距離の問題もあると思うが、必要であれば2回、3回に分けて行きたいと思います。
議長 (根本会長)	事務局に視察候補などがあれば事務局へお教えいただきたい。 視察及び意向調査を実施することによろしいでしょうか。
全委員	はい（全員一致）
<b>(5) その他</b>	
議長 (根本会長)	続いて（5）その他 委員の皆様から何かご意見ございますか。
長谷川委員	キヤノン電子として、どの程度施設にリンクしていくのでしょうか。
原田町長	8月にヒアリングに行きましたが、キヤノン電子が何社かと共同でスペースワンという会社を持っており、そこでは既に衛星を打ち上げています。美里町にその工場を集約したいとのこと。 新工場には土日を中心に一般の方に見学できるようにし、活性化施設内にオブジェを作っても良いとお話を聞けました。残念ながら、本庄早稲田駅前にも土地があるので、施設をつくりたいとも言っていました。そのほか、野菜の人工栽培の話もあり、多角的なことを進めている話を聞くことができました。
櫻沢委員	キヤノン電子さんは基本的に人工衛星です。ロケットの上に衛星を載せませす。衛星部分は今までは三菱電機が中心だったが、最近はキヤノン電子が参入しています。 しかし、ロケット部分は愛知にある三菱重工が作っています。オブジェといってもロケット部分は通常50mは必要です。ロケット展示は種子島に1つ、相模原にある東大研究所がロケットを設置しています。スペースワンはもっと小型ロケット的なものを設置するだけで、極端に大きなロケットができるわけではありません。皆さんが過大な期待をしては困りますので補足させていただきます。
事務局 (萩原副課長)	出来上がったものは運搬しなければなりませんので、美里で作るものは25m程度のロケットと衛星となります。
長谷川委員	25mといっても結構大きい。
議長 (根本会長)	皆様からたくさんの意見をいただきました。この中で良いところを視察場所として選んできたいと思う。 その他、委員の皆さんからは何かございますか。

	無いようでしたらこれにて、議長の役を終わります。ご協力ありがとうございました。事務局へお返しします。
<b>4. 閉 会</b>	
司 会 丸山副課長	それでは、閉会を小泉副会長お願いします。
小泉副会長	以上をもって、第5回農業振興審議会を終了いたします。